

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2023 年 第 46 週（11月13日～11月19日）

＜全数把握対象疾患の患者情報＞

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	4 人 類型 患者 2 人、 無症状病原体保有者 2 人 血清型 O157 2 人、O26 1 人、 O146 1 人
四類感染症 E 型肝炎	2 人 推定感染地域 国内 2 人
デング熱	1 人 推定感染地域 モルディブ
レジオネラ症	4 人 病型 肺炎型 4 人
五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4 人 菌種 <i>Escherichia</i> sp. 1 人、 <i>Klebsiella</i> sp. 2 人、 <i>Serratia</i> sp. 1 人
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 人 血清群 A 群 3 人、B 群 1 人
後天性免疫不全症候群	1 人 病型 AIDS
梅毒	4 人 病型 早期顕症Ⅰ期 2 人、 早期顕症Ⅱ期 2 人
百日咳	2 人 年齢階級 6 歳 1 人、30 歳代 1 人

＜新型コロナウイルス感染症発生状況＞

新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数(1.64→1.67:図1)は、前週と同水準であった。基幹定点における入院患者の報告は11人(前週27人)であった。

＜定点把握対象疾患の患者情報＞

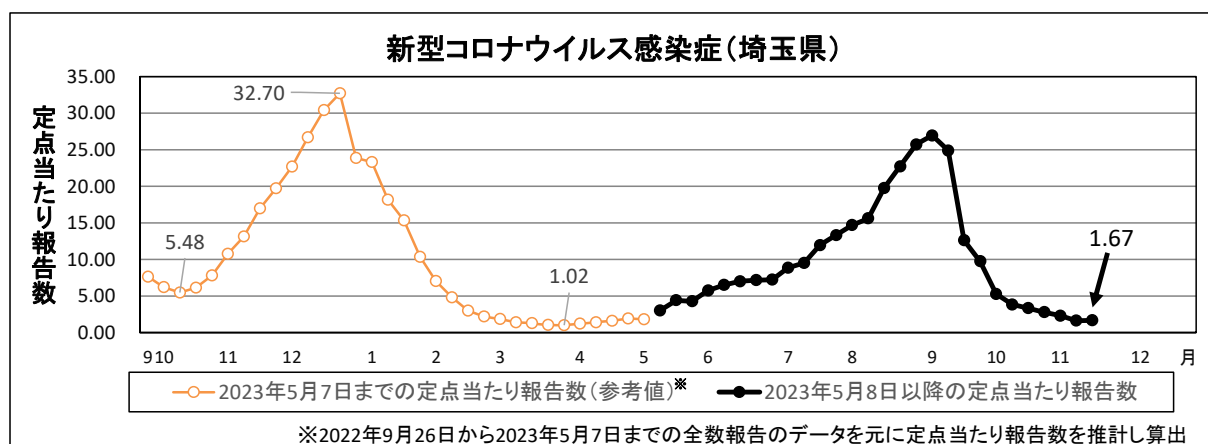
インフルエンザ(22.31→21.71:図2-1~4)の定点当たり報告数は、前週と同水準で、依然として多い状況が続いている。保健所別では幸手(32.93→39.00)保健所管内で前週と比較して大きく増加し、鴻巣(34.89)、東松山(30.88)保健所管内も含め3保健所管内で定点当たり30.0を超えている。年齢階級別では、5~9歳の報告が多い。咽頭結膜熱(3.80→4.21:図3-1~2)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、川口市(8.92→11.23)、熊谷(5.63→8.25)、幸手(4.00→7.11)保健所管内で大きく増加し、南部(7.20)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、2~5歳の報告が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(4.97→5.24:図4-1~2)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加し、例年同時期と比較すると多い状況が続いている。保健所別では、草加(5.08→8.67)保健所管内で大きく増加し、南部(10.40)、川口市(10.38)、幸手(9.89)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎1人、流行性角結膜炎54人(前週35人)の報告があり、後者の報告数は今年最高の値である。基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎3人、インフルエンザ(入院)(図2-4)14人(前週7人)の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第46週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<インフルエンザ流行情報（第46週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図2-1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

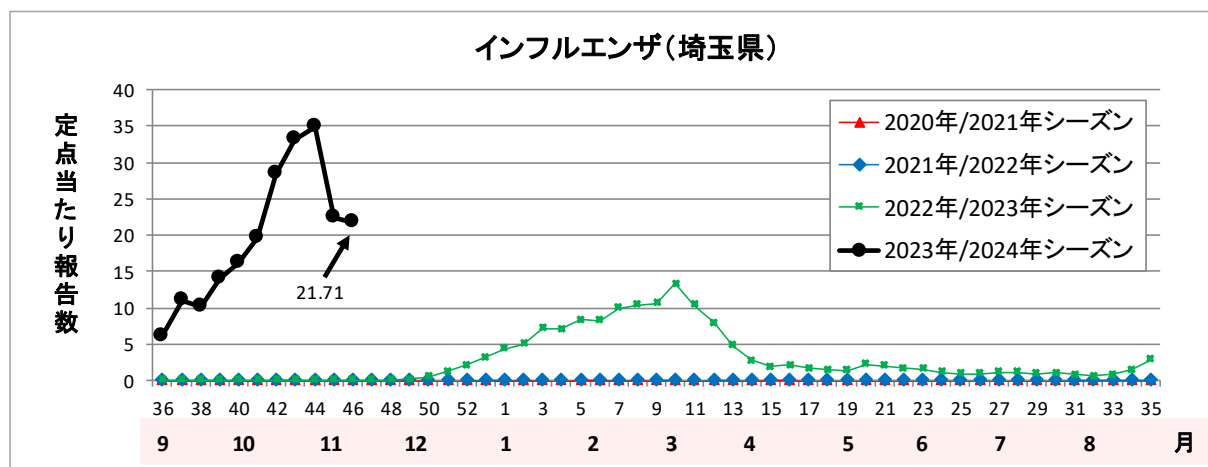


図2-2 インフルエンザの保健所別流行状況の推移（第44週～第46週）

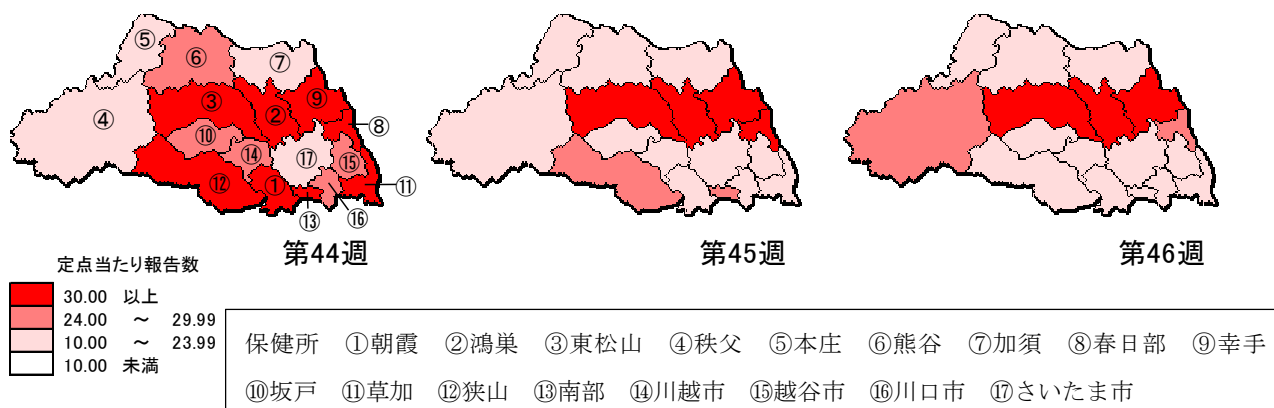
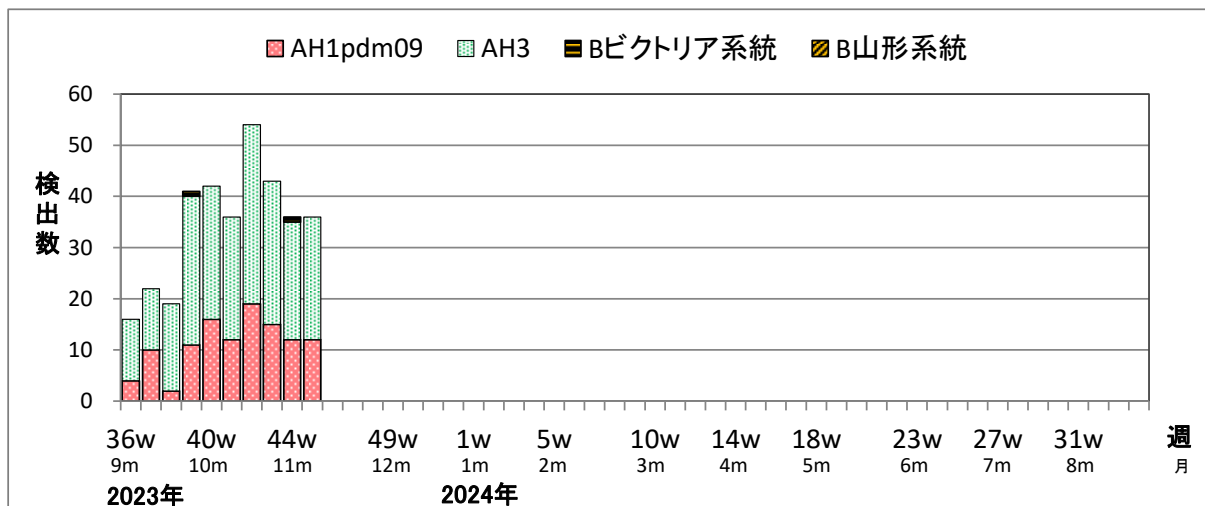


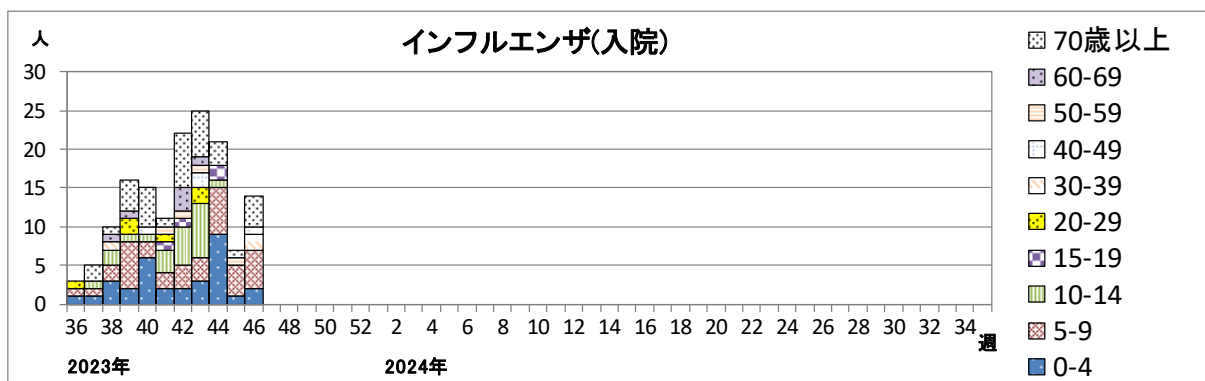
図 2-3 インフルエンザウイルスの週別検出状況



2023年第43週～第45週（2023年10月23日～11月12日）の3週間に採取されたインフルエンザ検体のうちウイルスの型別が終了した115検体は、AH3型が75検体(65.2%)、AH1pdm09型が39件(33.9%)、B型（ビクトリア系統）が1件（0.9%）でした。

詳細なウイルスの検出状況は、<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html> をご覧ください。

図 2-4 インフルエンザ（入院）の年齢階級別報告数



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図 3-1 咽頭結膜熱の定点当たり報告数の推移

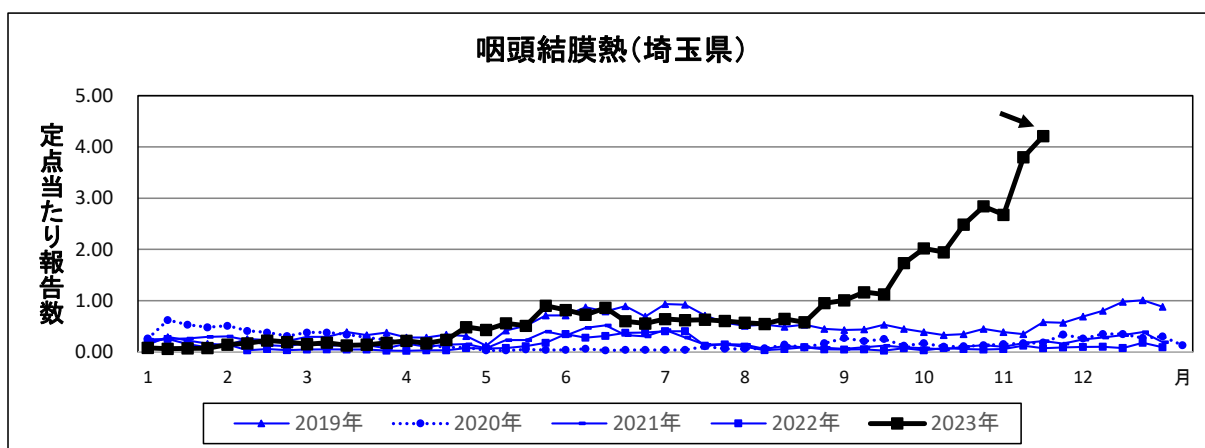


図 3-2 咽頭結膜熱の保健所別流行状況の推移 (第 44 週～第 46 週)

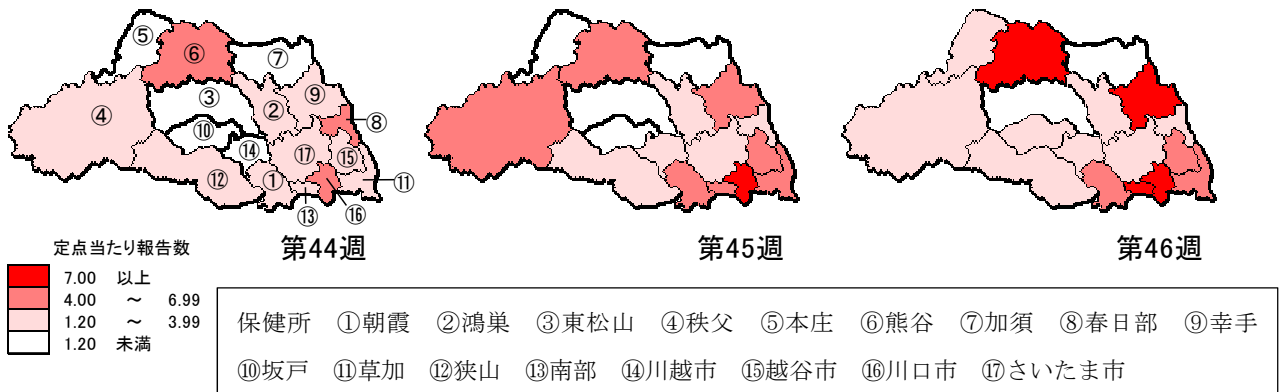


図 4-1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移

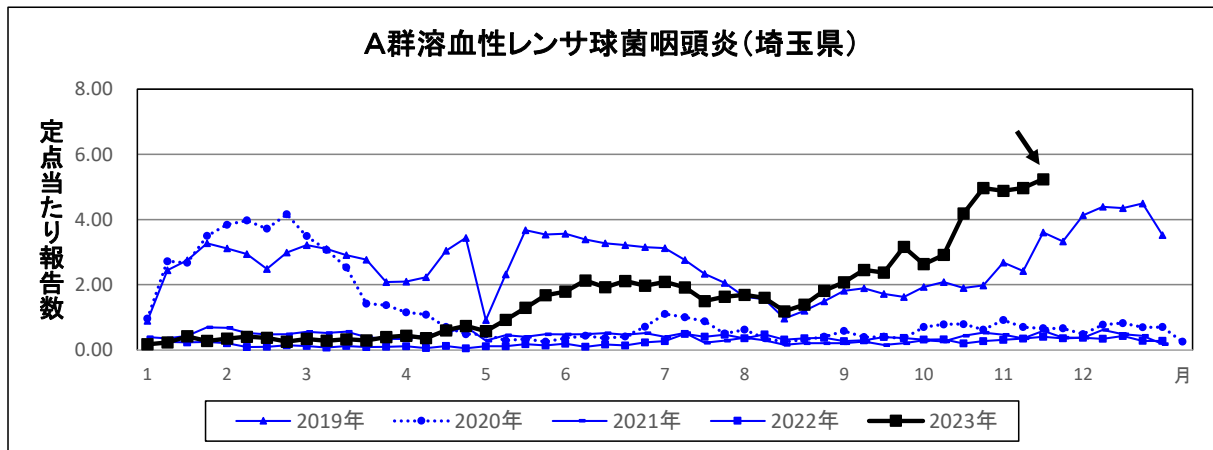
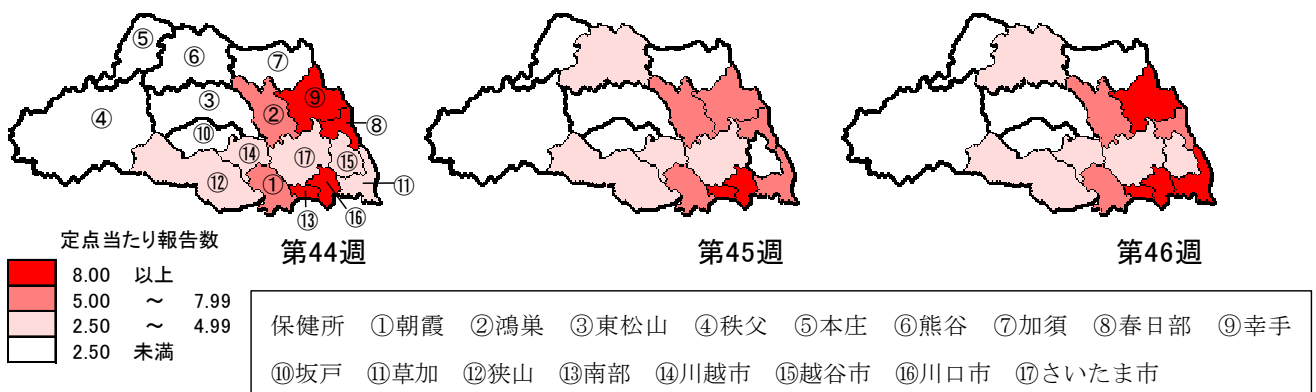


図 4-2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の保健所別流行状況の推移 (第 44 週～第 46 週)



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第46週)

(2023年11月21日 16:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		3
細菌性赤痢		8	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	4	152			
四類感染症					
E型肝炎	2	38	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		3	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
エムボックス		5	日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病		1	Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症		1	ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		1
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	4	100
つつが虫病		2	レプトスピラ症		
デング熱	1	9	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		27	侵襲性肺炎球菌感染症		66
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		7	水痘(入院例に限る)		12
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4	62	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		5	梅毒	4	419
急性脳炎		33	播種性クリプトコックス症		6
クリプトスポリジウム症			破傷風		3
クロイツフェルト・ヤコブ病		7	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	47	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1
後天性免疫不全症候群	1	25	百日咳	2	73
ジアルジア症		3	風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		9	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2023年第46週

11月13日~11月19日)

保 健 所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス 感染症 (入院)
		#1	感染症	感染症																		
全 県	報告数 5,666	437	7	691	859	863	27	128	3	39	9	8	1	54	-	3	-	-	-	-	14	11
	21.71	1.67	0.04	4.21	5.24	5.26	0.16	0.78	0.02	0.24	0.05	0.05	0.02	1.29	-	0.25	-	-	-	-	1.17	0.92
朝 霞	報告数 391	39	-	61	96	95	4	23	-	6	-	-	-	14	-	1	-	-	-	-	2	1
	17.00	1.70	-	4.07	6.40	6.33	0.27	1.53	-	0.40	-	-	-	3.50	-	1.00	-	-	-	-	2.00	1.00
鴻 巣	報告数 663	41	-	20	85	70	1	9	-	3	-	-	-	7	*	*	*	*	*	*	*	*
	34.89	2.16	-	1.67	7.08	5.83	0.08	0.75	-	0.25	-	-	-	2.33	*	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数 247	16	-	2	9	16	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	30.88	2.00	-	0.40	1.80	3.20	-	0.80	-	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-
秩 父	報告数 123	11	-	7	5	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	1	-
	24.60	2.20	-	2.33	1.67	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	1.00	-
本 庄	報告数 84	24	-	9	1	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	12.00	3.43	-	2.25	0.25	-	-	0.50	-	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
熊 谷	報告数 287	19	-	66	34	32	-	13	-	1	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
	22.08	1.46	-	8.25	4.25	4.00	-	1.63	-	0.13	0.25	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	2.00
加 須	報告数 191	13	-	3	13	2	3	2	-	5	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
	19.10	1.30	-	0.50	2.17	0.33	0.50	0.33	-	0.83	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-	1.00
春 日 部	報告数 269	23	5	22	41	53	1	9	2	1	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
	26.90	2.30	0.83	3.67	6.83	8.83	0.17	1.50	0.33	0.17	-	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数 546	43	-	64	89	34	3	2	-	2	-	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*	*
	39.00	3.07	-	7.11	9.89	3.78	0.33	0.22	-	0.22	-	-	-	0.50	*	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数 228	18	-	12	3	21	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1
	22.80	1.80	-	2.00	0.50	3.50	0.17	-	-	0.17	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	1.00
草 加	報告数 330	36	-	57	104	91	3	4	1	4	-	-	-	2	*	*	*	*	*	*	*	*
	17.37	1.89	-	4.75	8.67	7.58	0.25	0.33	0.08	0.33	-	-	-	0.67	*	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数 541	50	-	52	51	60	1	12	-	1	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	2
	21.64	2.00	-	3.25	3.19	3.75	0.06	0.75	-	0.06	-	0.06	0.20	0.60	-	-	-	-	-	-	-	2.00
南 部	報告数 172	12	2	36	52	70	-	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	21.50	1.50	0.40	7.20	10.40	14.00	-	0.40	-	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	-
川 越 市	報告数 218	17	-	14	21	14	1	4	-	1	-	-	-	5	*	*	*	*	*	*	*	*
	15.57	1.21	-	1.75	2.63	1.75	0.13	0.50	-	0.13	-	-	-	2.50	*	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数 225	19	-	32	22	41	3	12	-	1	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
	17.31	1.46	-	4.00	2.75	5.13	0.38	1.50	-	0.13	0.13	-	-	1.00	-	2.00	-	-	-	-	-	-
川 口 市	報告数 428	19	-	146	135	105	3	7	-	3	1	4	-	2	-	-	-	-	-	-	3	1
	21.40	0.95	-	11.23	10.38	8.08	0.23	0.54	-	0.23	0.08	0.31	-	0.50	-	-	-	-	-	-	3.00	1.00
さいたま市	報告数 723	37	-	88	98	159	3	23	-	6	4	-	-	15	-	-	-	-	-	-	3	2
	16.81	0.86	-	3.14	3.50	5.68	0.11	0.82	-	0.21	0.14	-	-	1.67	-	-	-	-	-	-	3.00	2.00

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

11月

21日

13:00 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2023年第46週 11月13日～11月19日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	5,666	13	28	108	164	239	279	373	372	389	408	388	1,216	470	244	347	301	172	89	40	26
新型コロナウイルス感染症	437	4	6	13	8	8	3	3	7	9	7	2	25	21	53	55	59	52	42	30	30
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	7	-	-	1	2	2	-	1	-	-	-	-	1	-	-						
咽頭結膜熱	691	3	17	72	92	106	126	104	66	44	24	12	15	1	9						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	859	-	1	13	34	64	79	123	113	95	113	78	113	5	28						
感染性胃腸炎	863	6	41	95	84	93	97	97	79	59	47	32	93	6	34						
水痘	27	-	1	3	-	3	3	2	-	2	2	2	4	3	2						
手足口病	128	1	4	31	29	21	17	13	2	2	3	1	3	1	-						
伝染性紅斑	3	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん	39	-	5	21	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	9	-	1	-	4	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	8	-	-	-	-	-	1	1	2	1	-	2	1	-	-						
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	54	1	-	-	1	1	-	1	3	2	1	1	1	1	4	19	9	3	4	2	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	14	1	1	5	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	4			
新型コロナウイルス感染症(入院)	11	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	7				

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第44週 (10月30日～11月5日)

令和5年11月22日

<全国情報>

インフルエンザ COVID-19定点報告疾患：インフルエンザの定点当たり報告数は第34週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山梨県(39.63)、埼玉県(34.84)、愛知県(34.62)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は647例と前週と比較して増加した。都道府県別では46都道府県から報告があり、年齢別では0歳(30例)、1～9歳(267例)、10代(77例)、20代(10例)、30代(17例)、40代(17例)、50代(30例)、60代(28例)、70代(60例)、80歳以上(111例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第36週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は北海道(6.51)、長野県(5.84)、山梨県(4.78)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,074例と前週と同値であった。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(13例)、1～9歳(34例)、10代(8例)、20代(12例)、30代(16例)、40代(22例)、50代(73例)、60代(114例)、70代(270例)、80歳以上(512例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの)：RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第36週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は山形県(0.54)、北海道(0.29)、富山県(0.24)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福岡県(6.51)、奈良県(5.62)、佐賀県(4.74)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は横ばいであったが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(6.25)、鳥取県(5.63)、福岡県(5.22)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(7.61)、香川県(6.36)、福井県(5.64)である。手足口病の定点当たり報告数は第40週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は新潟県(2.56)、福井県(1.96)、宮崎県(1.81)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は青森県(0.05)、愛媛県(0.05)、山形県(0.04)、福井県(0.04)、山梨県(0.04)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第40週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は山形県(0.61)、香川県(0.39)、高知県(0.35)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県(0.17)、奈良県(0.09)、広島県(0.07)である。

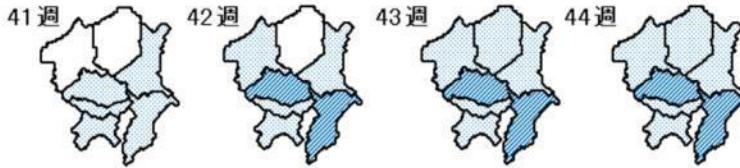
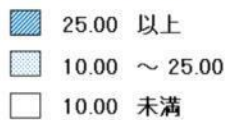
基幹定点報告疾患：マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は愛媛県(0.50)、沖縄県(0.29)、大分県(0.27)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告は横ばいであり、今週の報告はなかった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2023年 第44週(10月30日～11月5日)：通巻第25巻 第44号 より

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、埼玉県(34.84)、千葉県(28.78)からの報告が多い。

インフルエンザ



2023年 44週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 104,359 定点当たり 21.13	34,311 22.53	2,614 21.78	1,455 19.14	1,654 19.01	9,094 34.84	5,813 28.78	7,086 16.99	6,595 18.32
新型コロナウイルス感染症	報告数 12,065 定点当たり 2.44	2,916 1.91	309 2.58	217 2.86	258 2.97	603 2.31	415 2.05	607 1.46	507 1.41
RSウイルス感染症	報告数 193 定点当たり 0.06	47 0.05	-	9 0.19	2 0.04	7 0.04	15 0.12	9 0.03	5 0.02
咽頭結膜熱	報告数 7,718 定点当たり 2.45	2,146 2.24	142 1.89	74 1.54	45 0.83	439 2.68	315 2.52	716 2.73	415 1.80
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 9,568 定点当たり 3.04	3,660 3.82	253 3.37	110 2.29	115 2.13	801 4.88	563 4.50	1,094 4.18	724 3.13
感染性胃腸炎	報告数 9,823 定点当たり 3.12	3,111 3.24	160 2.13	72 1.50	191 3.54	649 3.96	379 3.03	967 3.69	693 3.00
水痘	報告数 320 定点当たり 0.10	120 0.13	1 0.01	4 0.08	5 0.09	28 0.17	18 0.14	40 0.15	24 0.10
手足口病	報告数 2,298 定点当たり 0.73	701 0.73	40 0.53	49 1.02	57 1.06	129 0.79	128 1.02	133 0.51	165 0.71
伝染性紅斑	報告数 30 定点当たり 0.01	11 0.01	-	-	1 0.02	2 0.01	-	7 0.03	1 0.00
突発性発しん	報告数 664 定点当たり 0.21	172 0.18	6 0.08	22 0.46	12 0.22	38 0.23	17 0.14	52 0.20	25 0.11
ヘルパンギーナ	報告数 367 定点当たり 0.12	68 0.07	8 0.11	1 0.02	6 0.11	9 0.05	11 0.09	17 0.06	16 0.07
流行性耳下腺炎	報告数 106 定点当たり 0.03	31 0.03	4 0.05	-	3 0.06	6 0.04	2 0.02	8 0.03	8 0.03
急性出血性結膜炎	報告数 8 定点当たり 0.01	2 0.01	-	-	-	1 0.02	-	-	1 0.02
流行性角結膜炎	報告数 564 定点当たり 0.81	224 1.07	21 1.24	2 0.17	5 0.36	37 0.88	20 0.57	43 1.10	96 1.88
細菌性髄膜炎 #2	報告数 11 定点当たり 0.02	2 0.02	-	-	-	-	-	-	2 0.17
無菌性髄膜炎	報告数 9 定点当たり 0.02	3 0.03	1 0.08	-	-	1 0.08	-	1 0.04	-
マイコプラズマ肺炎	報告数 28 定点当たり 0.06	5 0.06	1 0.08	-	-	1 0.08	-	1 0.04	2 0.17
クラミジア肺炎 #3	報告数 1 定点当たり 0.00	1 0.01	-	-	-	-	-	1 0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 - 定点当たり -	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(--:0.00)

感染症発生動向調査
2023年

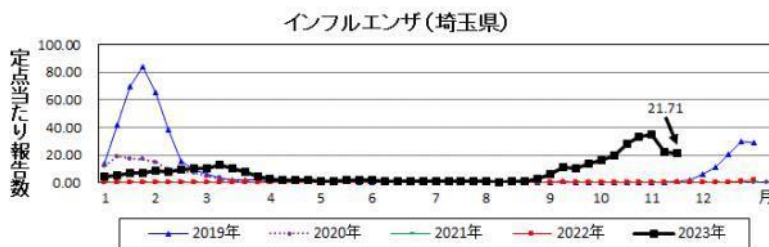
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第17週](#)
- ▶ [感染症発生動向調査 2022年](#)
- ▶ [感染症発生動向調査 2021年](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第19週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第20週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第21週](#)

感染症の流行状況 2023年 第46週

2023年第46週（11月13日～11月19日）の要点

[インフルエンザ](#)の定点当たり報告数は、前週と同水準で、依然として多い状況が続いています。

咳エチケット、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★★	手足口病	→	★
新型コロナウイルス感染症	→	—	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	↑	★★★★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	★★★★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘(みずぼうそう)	→	★	流行性角結膜炎	↑	★★★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン